

指定管理者実績評価シート

1. 基本情報

施設名	リフレッシュプラザ柏		
設置目的	南部クリーンセンターのごみ焼却の余熱を利用した余熱利用型健康増進施設であり、市民の交流・学習・健康増進・憩いの場の提供を目的としている。		
指定管理者	名称	柏ウェルネスパートナーズ	
	所在地	柏市南増尾58番地3	
	その他	※指定管理者が共同企業体の場合は、構成団体名を記入 代表者：株式会社クリーン工房 構成員：株式会社セイカスポーツセンター、京葉産業株式会社	
指定期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日（2年目）		
施設所管課	都市	部	公園緑地課

2. 評価

※ 指定管理者からの各種報告書や実地調査等の結果を踏まえた評価を「評価基準」に基づき記入。

※ 施設の特性に沿って、市が指定管理者に何を求めるのか、それを評価するために適切な評価項目を必要に応じて追加。

※ 評価に対するコメント欄は、市が指定管理者に求める運営内容に対し、どのような結果であったかという視点から、全ての評価に対してコメントを記入。

	項目	内容	評価	評価に対するコメント
施設管理・運営	維持管理	施設や設備の保守点検、整備、清掃等の適切な管理が仕様書や事業計画書どおりに行われているか。	B	設備の保守点検及び清掃等事業計画どおり実施されていた。
	安全管理・危機管理	警備や防犯対策、衛生管理が仕様書や事業計画書どおり適切に行われているか。 防災、防犯、緊急時の対策が整備され、それに沿った運用が行われているか。	B	施設の危機管理マニュアルが整備されており、適切に対応されていた。
	職員体制	仕様書や事業計画書に定めたとおり、安定的な運営が可能となる職員体制が取れているか。	B	適正に実施されていた。
	職員の育成	職員の指導育成、研修体制、待遇状況は適切か。	B	概ね適切に実施されていた。
	運営体制	組織体制、連絡網等によるサポート体制が整備されているか。	B	マニュアル等を作成し、体制が構築されている。
		委託先との連携は図られているか。	B	委託先業者と連携し、適正な施設管理を実施されていた。
自主モニタリング	より良い施設の管理運営に向けた取組みを継続的に行っているか。	B	定期的なアンケートを実施し、施設改善に努めていた。	
サービスの質の向上	施設の利用実績	仕様書や事業計画書等に定めた利用実績（利用者数等）があるか。	A	指定管理事業についての目標人数は達成されている。
	実施事業の質の向上	仕様書で定めた事業や施設の効用をより発揮するような自主事業等を適切に実施しているか。	A	自主事業のレッスンプログラム等について参加者も多く黒字運営している。
	利用者への対応	利用者の平等な利用が確保されているか。 利用者への対応は適切か。	B	利用団体の抽選実施等、平等な利用の確保に努めていた。
	利用者満足度	施設の管理運営に対する利用者の満足度はどうか。	A	アンケート等での不満足件数は少ない。
	情報の発信	施設のPRや広報活動を適切に実施しているか。	B	HPやSNS等によるこまめな情報発信を実施した。
	地域等との連携	周辺地域、関係機関、ボランティア等との連携や情報交換等を図り、円滑な運営を行っているか。	B	意見交換会等を実施し、次年度に向けてマネジメント等の構築に取り組んでいる。
効率的な管理	収支決算状況	収支計画書に記載された予算と事業報告書に記載された決算で大幅な相違はないか。	C	事業（収支）計画よりも拡大的に事業を行う場合は事前の協議等を経るべきである。
	利用料金の徴収	事業計画書どおりに利用料金を適切に徴収しているか。	B	利用区分に基づき適切に徴収されていた。

その他	雇用関係	障害者や高齢者等の雇用は仕様書や事業計画書に記載されたとおりとなっているか。	B	適切に雇用され配置されている。
		市内在住者の雇用確保が図られているか。	B	積極的な市内在住者の雇用が図られていた。
		雇用保険や労災保険には加入しているか。	B	必要な保険に加入されている。
		最低賃金は確保されているか。	B	適切な賃金体系を確保している。
	市内産業の振興	市内産業の振興への配慮はされているか。	B	適切に配慮されている。
	環境保護	環境基本計画、地球温暖化対策の実現に取り組んでいるか。	B	グリーン商品の積極的な導入が図られていた。
法令遵守	法令等は遵守されているか。	B	各種法令を遵守し、施設運営を行っていた。	
個人情報保護 情報公開	個人情報は適正に管理されているか。 情報公開請求への対応は適切か。	B	個人情報は、適切に管理が行われていた。	

【個別評価項目の点数換算】

A (優良) : 8点	B (適正) : 5点	C (課題有) : 2点	D (要改善) : 0点
-------------	-------------	--------------	--------------

総合評価	B (適正)	(合計点 : 121 点) (得点率 : 83 %) ※小数点以下、切捨て (満点 : 145 点)
総評	施設管理面においては、適切に点検、補修・修繕等が実施されていた。収支決算状況における支出について、計画時より大幅に増加している項が見受けられたため、適宜柏市に報告し又は協議を行い承認を受けるべきと考えられる。地域の連携において、より一層、地域の活性化につながるプログラム等の実施が求められる。	

【総合評価の算出方法】

A	優良	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が85%以上 かつ すべての項目においてB評価以上 かつ 評価項目【施設管理・運営】及び【サービスの向上】の各区分においてA評価があり、当該2区分におけるA評価が4項目以上
B	適正	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が75%以上 かつ D評価がなく、C評価が1項目以下
C	課題有	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%以上 かつ D評価が1項目以下
D	要改善	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%未満 または D評価が2項目以上

3. 課題解決の結果 ※ 事業年度とその前年度に生じた課題への対応結果を、いつ頃どのように改善したか等を記入

【事業年度とその前年度からの課題】 新型コロナウイルスに対する対策を徹底しつつ、地域活性化につながるプログラムやイベントの実施が求められる。また、アンケートにおいては、客観的な指標を用いて、利用者の意見を反映する必要がある。
【課題への対応結果】 1年を通して複数回新しい自主事業を実施しており、地域活性化への努力が見受けられる。アンケートについては客観的な指標を用いて分析した結果を報告書内で報告することが求められる。

4. 次年度の管理運営に向けた課題 ※ 次年度の管理運営に向けての課題や指定管理者に取組んでほしいこと等を記入

事業計画（収支計画）や事業報告書の内容について、募集時の仕様書や協定書の内容を満たすよう一部を改善すること。アンケートについて分析結果を報告すること。光熱費高騰による赤字が見込まれるため、可能な限り効率的な運営をし収支の改善に努めること。

5. 労働条件審査の結果 ※ 審査結果の総評を記入

一部、改善事項があるが、その他については、概ね、適切に運用されていることを確認した。
